

# 第9回東白石ふれあいまつり

東白石地区町内会連合会 総務部長 柳本 稔榮

恒例の「東白石ふれあいまつり」を、昨年10月19日(土)午前10時から午後3時半頃まで東白石会館にて開催いたしました。

今年度の開催に当たりましては、「子どもも大人も一緒に楽しめるイベントとして、地域での世代を超えたふれあいの場づくり」を目指して企画いたしました。午前の部は、子どもも大人も楽しめるプログラムとして、本郷和太鼓クラブの演奏、故新和樂(新舞踏集団)による踊りと琴の演奏、東白石小学校合唱部の合唱が披露されました。

休憩をはさんで午後の部は、大正琴アンサンブル、ハワイアンダンス、オカリナアンサンブル、詩吟、カラオケ、南京玉すだれ、手品で当地域の皆さんが日頃から鍛え、温めてきた腕や技やのどが披露されました。

多彩な演目に、沢山の拍手と歓声が起こり、アンコールの声がかかることもありました。また今回は、喫茶や綿あめ、ポップコーンに加え、日赤奉仕団による炊き出しやバザーが行われ、大変にぎやかでした。昨年の反省点を踏まえ、早くから様々な事前のPRを行い、当日はあいにくの暴風雨にもかかわらず、200名余が来場されました。ご来場のお客様をはじめ、関係者の皆様、大変お疲れ様でした。



故新和樂さん



あけぼのカラオケ

# 「白石区ふるさと祭り」に参加して

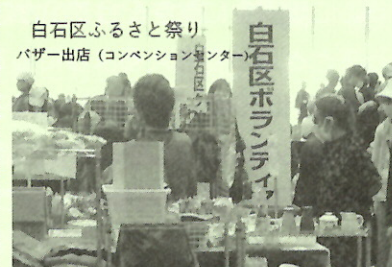
白石区ボランティア連絡会 会長 土橋 紘子(本郷町内会)

「第49回白石区ふるさとまつり」は、令和6年9月1日(日曜日)に札幌コンベンションセンターで開催され、約16,000人の来場者がありました(主催者報告)。

「白石区ふるさと祭り」は、白石区の魅力や歴史・伝統等をお伝えする場として昭和51年から毎年開催しており、白石区の大イベントとなっております。姉妹都市である宮城県白石市の物産展や仙台藩城主片倉家中の砲術を伝承する「片倉鉄砲隊」の紹介や、白石区内各町連の女性部による「白石音頭」や「子ども遊芽(ゆめ)カーニバル」等のイベントの他に、たくさんの屋台の出店もありました。白石区ボランティア連絡会も「環境に優しいリサイクルの店」というテーマでバザーに毎年参加しております。今年は晴天に恵まれ大人から子供までが楽しんだ大盛況のお祭りでした。来年は、第50回の節目を迎えます。



白石音頭 先頭は東白石地区!



ふるさと祭り バザー出店

# 令和6年度白石区防災訓練

東白石地区町内会連合会防火防災部長 媚山 一夫

昨年の元日には、石川県能登半島、その後も九州・四国一帯では南海トラフと疑われる大地震が発生、9月には能登半島の記録的豪雨など続けて多数の死亡者が出て地震列島を痛感する状況となっております。

今年度の防災訓練は大災害が発生した想定のもと、9月28日14時~16時に白石区と東白石地区町内会連合会共催の合同防災訓練として万生公園グラウンドで実施されました。

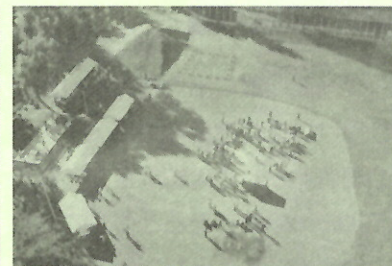
関係12団体のご協力と白石消防署のご指導で参加者

250名余がA~Fグループの6つに分かれ、若い世代に希望を託すボーイズ・ファイア・クラブの子どもたち20数名も参加し、①消火、②煙道通過、③応急担架作成搬送、④防災資機材・AED、⑤炊き出し、⑥災害時給水・高圧洗浄機、など実践に即した各訓練を15分交代で行いました。

大災害が起きると行政機関など「公助」の対応にも限界があり、「共助」の各種訓練を実施することは町内会や地域住民の防災意識の向上に非常に重要です。今回初の試みとしてドローンが訓練の様子を上空から撮影した映像をモニターで見ることができました。今後も咄嗟の場合に素早い対応がとれるよう防災訓練を継続していく必要があります。



倒壊家屋からの救助



ドローンからの空中映像